

◆個人(5名)

小塚 渉

平成10年(1998年)10月豊平区において「ひまわり治療院」を開業されました。市内各地区の健康フェアにボランティアとして参加され、鍼灸柔整マッサージについての正しい知識の普及及び啓発を行い、市民の公衆衛生の向上、健康増進及び病予防に積極的に寄与されています。また、当会の視覚障がいをもつ施術者に鍼灸マッサージに関する伝達情報、就労などの支援に関する奉仕活動や指導なども積極的に行っています。

平成14年(2002年)4月より現在地にて開業して以来、地域に根ざした信頼されるはり・きゅうマッサージ治療院を目指して、市民の皆様の厚い信頼と指導者として後進の育成にご尽力いただいています。また、足が不自由で通院できない高齢者宅、障がい者支援施設や老人ホームなどにも積極的に赴き施術を行っています。

長井 優直

アリオ札幌(東区北7条東9丁目)で開催されている「盆踊り夏祭り」の運営責任者として、町内会と協働しながら長年にわたり実施・運営しており、子どもからお年寄りの方まで幅広い地域の人々に喜んでいただいています(今年は2日間で約8,000人が来場)。また、継続して開催するため、団体等へ支援や協力を求めるなど自ら積極的に活動を続けています。

畠山 准一

毎年春と秋に東16丁目通の両歩道の草刈りや清掃活動を実施しているほか、春には町内会や小学校と協力して約800もの花苗を植えるなど、これまで10年以上にわたり環境美化の活動をしており、札幌市の美しいまちづくりに貢献しています。

平野 幾子

芸術の森地区における国道453号(常盤2条1丁目)交差点付近で、長年にわたり、毎日、小・中学校の登下校時間帯に街頭立哨活動を自主的に行っています。また、立哨前には、通学路沿線のゴミ拾いも同時に行っており、児童達や地域住民に対しても「安全安心なまちづくり」や「クリーンなまちづくり」を、自発的な意思に基づいて実践されています。

このような個人の献身的活動は、学校と地域、児童と地域だけではなく、地域全体が支え合い、世代間が交流する住民による「まちづくり」の互助的関係に示唆が富んでおり、特に、「朝のあいさつ」による声掛け活動は、児童や住民の顔が見える関係を築き、日頃の「見守り活動」関係者にとって相互信頼ための礎となっています。ボランティアを行っている人達には人望も厚く、真摯な姿勢は、全地域活動の模範となっています。

吉田 恵子

平成9年(1997年)に心の里親会の趣旨に賛同して入会し、以後26年間ひたむきに活動を続けています。この間、支部の取りまとめ役を担ったほか、法人の基幹事業である文通では7名の児童を担当し、児童養護施設で生活する子どもたちに寄り添い励まし、立派な社会人として自立させるために長期にわたり応援してきました。

現在も2名の児童との文通をおこない、施設訪問や児童の絵画・書道展覧会など児童と直接会える機会にも積極的に出席し、子どもたちの健やかな成長を支える無償の活動を続けています。

◆団体(11団体)

アカシア子ども会

アカシア子ども会では5年以上前から、毎年、町内会と合同で春のクリーン作戦(町内会地域の清掃活動)を実施しており、その後は子ども会のプランターに花を植えています。また、歩道の花壇の花植えを手伝い、その後(特に夏休みのラジオ体操後)はプランターに水やりをしています。

秋のクリーン作戦後は、プランター、花壇の後始末を行っています。これらのことから、アカシア子ども会は、子ども達の町を汚さない、花を大切にすると、水やりを続けることにより責任感を養っており、町内会活動や札幌市の環境美化に貢献しています。

厚別西地区交通安全母の会

厚別西地区交通安全母の会は、町内会連合会女性部と地域の方々、小・中学校PTAの協力を得て、交通事故の無い安心して暮らせる街づくりを目的として、昭和61年(1986年)に設立されました。

「交通安全は家庭から」を合言葉に、年間を通じ交通安全早朝街頭啓発等地道な活動を続けるとともに、スクールゾーン実行委員会や交通安全実践会と連携・協力しながら、子どもの交通安全の中心的役割を担っています。

その取組の成果として、令和4年(2022年)9月6日に、厚別西地区において交通死亡事故ゼロ5,000日を達成しており、これについては、現在も継続中でありです。

小野幌りの木公園ラジオ体操同好会

小野幌りの木公園ラジオ体操同好会は、厚別東地区にある「小野幌りの木公園」の広場において、平成31年(2019年)4月から現在まで4年間にわたり、降雨時、積雪期を除く毎日、朝のラジオ体操を行っています。

活動の目的は、町内会員特に運動不足になりがちな高齢者に呼びかけ、体操を正しく実施することによる体調管理(向上)と体操前後での交流による仲間意識の高まりを期待するものです。

当初4~5名だった参加者が現在14名となり、今後も増加が見込まれています。また、小学校の夏休み期間中は、毎日約40人の子どもたちとともに体操を行っており、世代を超えた交流の場となっています。

(裏面に続きます。)

札幌市赤十字奉仕団 山鼻分団

札幌市赤十字奉仕団山鼻分団は、赤十字のボランティア活動を通じて地域社会に貢献したいという思いを持った人びとによって組織されたボランティアグループです。当分団は、昭和28年(1953年)の結成以来、長きにわたり地域のイベント行事や高齢者支援活動、防災・減災活動、災害義援金・救済活動などに、積極的に取り組んでまいりました。現在、分団の団員は107名が在籍しており、令和4年度(2022年度)は、年間延べ回数31回に245名のメンバーが地域奉仕活動に従事したところです。新型コロナウイルス感染拡大による活動自粛期間中においても、雑巾などを作成し、市内高齢福祉施設等に寄贈するなど、地道な努力を重ねております。

地域での人と人との結びつきが薄れつつある昨今、山鼻分団は、赤十字の精神に基づく奉仕活動によって、市民生活をより豊かなものとするため、今後も積極的に地域活動に取り組んでまいります。

札幌市立屯田北中学校

○地域清掃・美化活動「創成川の清掃活動」…創成川での観察・調査活動の際、大量のごみが散乱し、河川への流入の危険性が見られたほか、近年問題視されているマイクロプラスチックの増加の懸念もあることから、4年間にわたり科学部員が創成川周辺(北四番橋～北五番橋間)の清掃を年に1～2回程度行っています。今年度は状況がとてつもないですが、引き続き河川の見守りを行ってまいります。

○自然環境の整備・保全活動「河川の生態調査」…東屯田川・茨戸耕北水路・創成川の生態調査を行い、在来種と外来種の生息状況を5月～11月にほぼ週1回確認しています。その結果を札幌市中学校文化連盟の「私たちの科学研究発表会」で発表したり、北海道庁に報告したりすることを通して、在来種の保護や外来種への警戒について普及啓発しており、この活動は今年で5年目になります。

市立札幌みなみの杜高等支援学校

①元気もりもり体操(高齢者のための生きがい活動)…2か月に1回程度、五輪団地のお年寄りをお招きしてクイズやミニゲームなど頭と体を動かす活動を通して、生徒との交流を図っています。

②クマ防止の草刈り(地域住民の生活を保全する活動)…札幌市と協働して、クマと地域住民との生活空間に緩衝地帯を設けるために、河川の笹の刈り取りを行っています。

③コロボーズボトル(地域住民の生活を保全する活動)…札幌市南区土木センターから依頼を受けて、冬道の滑り、転倒防止に資するためペットボトルに砂を入れたコロボーズボトルを、今年度は432本納入しています。

④ダストスポーツ(地域清掃・美化活動)…近隣の中学校や区地域振興課、地域住民の方にも参加をいただき、総勢7チーム62名の参加のもと、学校周辺のごみを競いながら拾い集める活動を開催しています。

⑤通学路へのポイ捨て防止ポスター(ポイ捨て防止等の実践活動)…URコミュニティ様からの依頼を受けて、ごみのポイ捨て防止の啓発に係るポスターを制作し、歩道わきのフェンスに掲示しています。

信濃小学校親父の会

「父親も、もっと学校に足を運び、子どもの教育を考え、PTA活動に参加すべき」との思いから、信濃小学校PTA組織の一部として昭和60年(1985年)に発足しました。現会員は同小学校の父親(現役・OB)約30名で構成されています。

活動内容は、学校行事の支援として「運動会の設営・撤去・運営支援」、「卒業式・入学式撮影隊」、「校地内清掃」などを実施しています。また、学校行事以外にも独自イベントとして、小学校グラウンドでの「ペットボトルロケット大会」や町内会館駐車場での「餅つき大会」のほか、校区内の公園での「プレーパーク」、「手持ち花火大会」などを実施しています。

さらに、町内会行事の支援として「盆踊りの運営支援」、「信濃神社子ども神輿巡行支援」、「除雪活動支援」、「国道12号花いっぱいプロジェクト支援」などを実施しているほか、子ども会が運営管理する「キャンプ場の設営・撤去支援」や「子どもまつりの支援」、こども食堂主催の「七夕まつり、ハロウィンパーティー、クリスマス会における会場設営・撤去・運営支援」などを実施しています。町内会をはじめ、親父の会に対する地域からの信頼は厚く、地域活性化、青少年育成の観点から、地域活動において同会が果たしている役割は非常に大きいです。

親和第一町内会 ラタ坊&チョボラ隊

昭和47年(1972年)の発足以降、親和第一町内会の有志が毎朝、北37条さくら公園に集まり、ラジオ体操を行っています。夏季はラジオ体操の前に公園や道路の清掃活動を行い、冬季は公園及び消火栓の除雪、ゴミ拾いなどを行い、健康づくり(ラジオ体操の普及)や地域の環境美化に貢献しています。

これらの方々は、町内会活動や福祉活動(福祉のまち推進センター、民生委員活動)にも積極的に関わっており、地域のまちづくり活動、高齢者や児童等の見守り活動など、地域の住民同士のつながりを深めるための重要な役割も担っています。

八軒中央納涼まつり実行委員会

八軒中央地区の連合町内会や青少年育成委員会、児童会館などで実行委員会を組織し、約30年にわたり、「八軒中央納涼まつり」を開催しています。「子どもが主役のおまつり」の実現を目指し、祭りにおける一大イベントとして、地域の子供たちが作った約600個のちょうちんを展示し、あかりを灯す「はちけん夢あかり」を開催するほか、地域の小学校の金管バンドの演奏など、子ども自身が主体的に参加でき、楽しめるプログラムを多数実施しています。また、ステージイベントには、八軒音頭、よさこいなどの地域で活動している団体に出演していただき、子どもたちがこれらに触れる中で、地域への愛着を深めることができるよう企画しています。この祭りの開催を通して、子どもたちの夢や豊かな心を育むとともに、地域の絆を深め、子どもからお年寄りまで、だれもがしがあわせに暮らすことのできるまちづくりに貢献しています。

一般社団法人 北海道警友会 札幌南支部

警友会は、警察官退職者の方で、地域に貢献したいとの思いにより、昭和45年(1970年)4月に結成し、現在588名により多様な活動を行っています。

地域の交通安全活動をはじめとして、暴力追放や犯罪被害者支援、子ども見守り活動などを長年にわたり行っており、特に春、夏、秋の交通安全「市民総ぐるみ」運動には積極的に参加協力し、地域に貢献しています。また、スクールガードとして児童・生徒の登下校の見守り活動を実施し、住みよい「安全・安心」なまちづくりを目指して取り組んでいます。

藻岩下第6町内会

30年以上前から、札幌市の歩道美化事業に参加し、地域の花壇づくりに取り組んでいます。今年も5月21日に地域の子供や町内会の皆さんが集まり、サルビア、ペコニア、マリーゴールド、ペチュニアなどの花の苗植えを行いました。

その後、水やりや雑草取りなど丹精込めて育て、夏には色とりどりの花を咲かせ、地域の人たちにうるおいを与え、心を和ませる花壇となっており、秋の終わりまで楽しめる空間になっています。また、こうした活動を通じて地域住民の環境美化に対する意識の醸成に大きく貢献しています。